

# 小倉山通信

平成29年4月10日・月  
No.02

## 新入生106名が角中ファミリーに仲間入り

4月6日(木)、角館中学校第35期生となる新入生106名が入学しました。2年生99名、3年生90名、合計295名で平成29年度がスタートしました。

入学式では新入生氏名点呼、校長式辞に続き、仙北市議会議長 A. 様からご祝辞をいただきました。

在校生からは、生徒会長のN. さんから歓迎の言葉があり、これに答えて、新入生を代表して草薨 誉さんから誓いの言葉がありました。

二人の言葉を紹介します。

### 新入生歓迎の言葉 3年 組 N.



暖かい春の日差しに包まれ、本日角館中学校に入学される第35期生106名の皆さん、ご入学おめでとうございます。今日から皆さんも角

中生の仲間入りです。

入学式を迎え、皆さんの胸の中はこれからスタートする中学校生活への「期待」や「不安」など、様々な感情でいっぱいだと思います。2年前、私も皆さんと同じような気持ちで角中に入学しました。そんな時、私たちを助けてくれたのは2・3年生の先輩方でした。だから、私たちも皆さんのことを全力でサポートします。最初は分からないことがあるのが当たり前です。そんな時は何でも私たちに聞いてください。いつでも力になります。そうやって少しずつ中学校生活に慣れ、たくさんの友だちをつくり、これからの生活を楽しんでください。

ここで新入生の皆さんに角館中学校の一員だということを意識してもらえるように、角中の誇るべきことをいくつかお伝えします。

まず、「あいさつ」についてです。私たち角中生は「あいさつ」に特に力を入れています。校内はいつも明るいあいさつであふれています。皆さんも、最初は友だち同士で気軽に「おはよう」「こんにちは」と声をかけ合うところから始めてください。次は先生方や先輩方、そして普段からお世話になっている地域の方々へとあいさつを広げていってください。

次に「部活動」についてです。角中

には、運動部、文化部合わせて14の部活動があります。どの部も自分たちの目標達成に向けて、規律正しく活動に励んでいます。皆さんも自分がやっていた仲間と共に一生懸命汗を流すことの素晴らしさを感じ取ってください。

また中学校には生徒会が主催する行事がたくさんあります。その中でも最大のイベントは「すずかけ祭」です。すずかけ祭は、企画の段階から公開当日、そして後片付けまで、私たち生徒が中心となって進めていきます。その過程では意見のぶつかり合いがあったり、難しい壁に悩んだりする場面が必ずあります。しかし、それを乗り越えることで協力することの大切さや強い達成感を味わうことができます。

これらの他に、中学校生活を過ごす上で絶対に忘れてはいけないのが勉強です。中学校の勉強はぐっと難しくなりますが、小学校で習ってきたことを活かし、友だちと協力して学び合い、高め合ってください。そして前に述べた部活動との両立をめざして共に努力しましょう。

角館中学校の校訓は「立志」「協和」「清純」です。これからこの三つの言葉を胸に力を合わせて頑張りましょう。

今日から始まる3年間の中学校生活が皆さんにとって思い出多き充実したものになることをお祈りし、歓迎の言葉といたします。

### 新入生誓いの言葉 新入生代表 K.



暖かい陽射しが降り注ぐようになり、春の到来を感じます。まだかまだかと花開こうとする桜のつぼみのように、私たち106名は、今日伝統ある角館中学

校に入学しました。本日はこのように温かく迎えてくださり、本当にありがとうございます。

これから過ごす3年間は、私たちが人間として成長し、それぞれの夢を叶えるために、とても大切な時期になると思います。その大切な3年間を送る上で、心に留めて過ごしたい三つのことを考えました。

まず一つ目は勉強です。新しい教科

が加わり、内容も今まで以上に難しくなります。自分から進んで学習に取り組み、積極的な態度で自分の可能性を広げていきたいと思えます。

二つ目は部活動です。中学校には様々な部活動があり、その活動を通して、自分の心と身体を鍛えたいと思えます。

三つ目は、仲間を大切にすることです。私たちは、いくつかの小学校から集まって、今同じ学年の生徒になりました。まだ、おたがいのことはよく分かりませんが、私は早く友だちを作りたいと思っています。様々な活動をする上で、お互いに支え合っているような、仲間作りをしていきたいです。

楽しみなことたくさんあります。すずかけ祭をはじめ、小学校にはなかった行事や学習をするのが、今から楽しみです。

今、希望にあふれている私たちですが、きっと自分たちでは解決できないこともあると思います。そんなときは、先輩方、先生、家族の力を借り、乗り越えていきたいです。どうか力をお貸してください。

私たち新入生は、新たな仲間と共に、今日の喜び、感謝の気持ちを忘れずに、角中生である自覚と責任をもって過ごしていきたいと思えます。角館中学校の目指す、立志、清純、協和の精神で一生懸命進んでいくことをここに誓います。

最後に、私が新入生の入学をお祝いして述べた式辞の一部を紹介します。

### 式辞

106名の新入生の皆さん。入学おめでとうございます。

今朝目覚めた時、どんな想いが胸にあったでしょうか。

いよいよ角館中学校の一年生になるんだというわくわくするような喜びでしょうか、それとも中学生としてやっていけるかなあという不安だったでしょうか。

おそらくこの二つを右手と左手に抱えて、ここにやってきたのかもしれないね。

しかし、今日からは自信をもって過ごしてください。

みなさんはそれぞれの小学校で、リーダーとして学校を引っ張り、自分たちで考えて、自分たちで実行する力を十分に身に付けてきました。それはそれは大きな力をもっているのです。

これからは、角館中学校という大きな学校家族の一員です。一人一人が温かくてたくましい角中ファミリーです。安心して、思いっきり、その力を

発揮して下さい。

角館中学校は昭和60年に白岩中学校と統合し、新角館中学校として今年33年目を迎えました。

角館中学校には三つの校訓があります。

一つ目は「立志」です。立志とは志を立てること。この三年間で生きる上での目標を心に決め、それを成し遂げるために努力していきましょう。

二つ目は「清純」です。清純とは、純粋な心をもつということです。真理や正義を愛し、美しいものに感動する心をもって生活していきましょう。

三つ目は「協和」です。協和とは励まし合い、助け合うことです。協力してお互いによさを認め合い、力を合わせてよりよい生き方をめざそうとすることです。

この校訓のもとに、みなさんといっしょに、角館中学校を、自立心と共感ににあふれ、創造力に満ちた学校にしていきましょう。

さて、入学を期に、今日、皆さんにお願いしたいことが一つあります。それは、中学校の3年間で、自分の中にある新しい自分をどんどん見つけてほしいということです。

みなさん一人一人には、無限の可能性があり、なりたい自分の種はその胸の中にいくつも、いくつもあります。どうか、三年間で新しい自分を創ってってください。

今日という日は、そのために決意し、頑張ることを誓う日になると思えます。

岡本かの子さんという人の短歌につきのようなものがあります。

「ひとつの誓ひ むなしくならば またひとつ 誓いつぎつぎ 生くべしわれら」

この短歌に込められた思いを、私は次のように受け止めました。

「人は様々な機会に決意して誓いを立てる。でも、人間には弱さもあるから、その誓いが心から離れてしまうかもしれない。でもね、その時は、もう一度誓おう。そうして誓いをつなぎながら、私たちは、生きていくのだ。」

新年度のスタートという今日を逃さずに決意し、誓いを新たにしていきたいと思います。そして、その決意をお互いに伝え合い、空しくなりそうな時に、支え合える仲間であらう。

平成29年4月6日  
仙北市立角館中学校長 田口和典